



1991年に写真学科営業コースを卒業して
現在は香川県で「荒木写真館」を運営している
荒木尚良さん（3代目：47歳）
そして長男が現在映像学科2年生の荒木大輔さん。
もちろん将来は実家を継承する予定です。
きっと動画の技術、感性は職業にも大いに役立つことでしょう。
荒木 尚良 × 大輔

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.58

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

「僕は実家が営業写真館ということもあって、写真には以前から興味がすごくあったんですが、映像の機材に憧れて映像を学ぶことを選択しました。映像ならではの表現も必ず写真にもつながると信じて頑張っています。今でも写真がしたい気持ちはパンパンにあります」（笑）「あれもこれもやりたい欲望が沸き上がってくるんですよ。きっと欲張りな性格なんですよ」と将来の4代目は笑う。いやいや、常に何にでも前を向いて興味を持つって素晴らしいじゃないですか。

「お父さん（尚良：47）、お母さん（法子：47）とはよく会話が弾むようだ。「我が家は明るいですよ。お互いによくしゃべるし、ほんの小さなことでもみんながよく笑うんですよ。仲のいい家族だと思えます。今回の新聞の取材で父の写専時代どうだったあ？って聞くと大阪九条にあった学校の寮生活が楽しかったって言ってました。父の時代に大阪で花の博覧会が開催されて写真美術館などにもよく行ったって懐かしがっていました。現在よりも校舎は小さくてプレハブだったそうです」（笑）お父さんはどんな人ですか？「スゴくしっかりしていてきっちりした性格の人です」息子の目が尊敬している父への眼差しに変わった。「ボクは、ふらふらしているんです（笑）」突発的に行動を起こしたりします（笑）「あまり壁にぶつかったことがないですね。ゆるめな性格です」このあたりがクラスの人気者の所以かもしれない。最近、驚いたことは？

「新入生ですでにいろんなソフトを理解して、テキパキと段取りがいい子がいます。あっ、自分よりはるかにレベルが上だ。すげえ・・・ってなりましたよ」コレはビックリ。今までで一番シアワセと感じたことは何ですか？「うーん」しばらく間があつて、「おいしいものを食べたときです。とても幸せに感じます。特に甘いものが大好きです」（笑）実家ではお母さんの手料理が最高の食べ物なんだらう。「G・Wは香川に帰ります」と言った彼の顔にはお母さんのご馳走のメニューが書かれていた。



同じ年のご夫妻。
明るいお母さんの笑い声が
聞こえてきそうな
ご家族です。